

全国養護教諭
連絡協議会NO.63
会報平成23年9月 発行
全国養護教諭連絡協議会
代表者 堀田 美枝子
東京都港区芝公園 2-6-8
日本女子会館 5階
TEL.:03(3433)5767
FAX.:03(3433)5768全国養護教諭連絡協議会ホームページアドレス <http://www.yougo.jp>

温 故 知 新

全国養護教諭連絡協議会
会 長 堀田 美枝子

会員の皆様には、日頃より本会発展のために、深いご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

3月11日の東日本大震災から半年が過ぎました。さまざまな課題が次から次へと沸きあがり、失ったものを補っていくご苦勞をひしひしと感じております。被災された方々に心からお見舞い申し上げ、被災地域の日も早い復興を願っております。

さて今年、本会設立20周年の記念すべき時を迎え、また、養護教諭制度70周年に当たります。去る8月4日の佐賀県における全国養護教諭研究大会で、全国から256名の養護教諭が、名誉ある学校保健功勞者文部科学大臣表彰を受賞されました。誠におめでとございました。

昭和16年、国民学校令制定に伴い教育職としての養護訓導の職制が成立し、昭和22年学校教育法の制定により養護教諭と改称されました。以来その時々で養護教諭の職務のあり方も種々変遷を重ねてまいりました。ここ20年近くの動きでは、複数配置の拡充、保健体育審議会答申に養護教諭の新たな役割が示され、兼職発令による保健学習授業の実施や保健主事・管理職への登用が可能となりました。さらには、中央教育審議会答申と、それを受けての学校保健安全法の改正により養護教諭の役割等がより明確になり、養護教諭に対する期待は益々高まってまいりました。

また本会は、平成3年の養護教諭制度50周年記念大会（東京大会）において、全国養護教諭会長協議会の名称を改め「全国養護教諭連絡協議会」が設立され、初代会長に中村道子先生が選出されました。発足当時は、会則の制定・会報の発行（本部と会員との架け橋）・調査研究・要請要望活動・悉皆調査（現在の基本調査・養護教諭の職務に関する調査）・初等中等教育連合会加盟・研究協議会の開催・事務所開設等計り知れないご苦勞の連続だったことと想像いたします。

今年20年目の節目の年を迎え、過去から未来へと繋いでいく今の私たちが、子どもたちの笑顔がいつまでも溢れる学校・家庭・地域となるよう微力ながら努力していきたいと考えます。

この6月に、平成23年度・24年度の2年間を、新体制でスタートいたしました。本会と各研究会との一層密接な連携と発展のために、新役員一同心と力を合わせて全力で尽くす所存です。ご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

ご退任された役員の皆様、大変お疲れ様でした。

高橋由美子副会長はじめ米元まり子副会長、小泉光子常務理事、出川久枝常務理事、森山直美常務理事の先生がご退任されました。

これまでの本会の発展にご尽力いただきましたことに会員一同心から感謝申し上げます。

全国養護教諭連絡協議会に望むこと



健康教育調査官 岩崎 信子

全国養護教諭連絡協議会の皆様方におかれましては、日ごろから児童生徒の健康の保持増進と学校保健活動の推進に多大なご尽力をいただいておりますことに、心から御礼申し上げます。

近年、都市化、少子高齢化、情報化、国際化等による社会環境や生活環境の急激な変化は、子どもの心身の健康にも大きな影響を与えており、アレルギー疾患の増加、薬物乱用、性の問題行動、感染症、いじめ・不登校などのメンタルヘルスに関する問題など、子どもの心身の健康問題が顕在化しています。

これらの多様化した子どもの心身の健康問題の解決に向けて、学校保健活動の推進に当たって中核的な役割を果たしている養護教諭への期待が高まっており、組織に働きかけ、組織を動かす力が求められているところです。

文部科学省におきましては、学校保健安全法の趣旨を踏まえ、子どもの健康観察や心のケアに関する各種参考資料等の作成、各種研修会の開催など様々な施策を実施し、学校保健の充実に努めているところです。

また、最近の動向を踏まえ、「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」を作成し、9月には全国の学校に配布する予定です。ご活用いただけますようお願いいたします。

さらに、財団法人日本学校保健会において、養護教諭の職務に関する検討会、保健室利用状況調査委員会を設置し、検討を図っているところです。

最後になりましたが、学校保健の中核を担っている養護教諭の役割は大きくなっており、養護教諭の職能団体としての貴会の役割は重要となっています。今後も各研究会との連携の下、ますますのご活躍をお祈りしております。

財団法人日本学校保健会 会長 原中 勝征

全国の養護教諭の皆様には、日頃より学校保健及び健康教育の推進、活動にご尽力をいただき、お礼を申し上げます。

さて、少子高齢化がすすむこの現代において、日本の将来を担うのは子どもたちです。私たちは子どもたちに対して愛情を持ち、健康は当然のこととして、精神的にも肉体的にもきちんと健康というものを広める活動をしていかなければならないと思っています。

私が以前に茨城県学校保健会会長を務めていた頃から、子どもの性の逸脱行動の問題、心の問題など様々な課題が顕著でした。核家族化やインターネットの発達など子どもを取り巻く環境の変化はめまぐるしく、家庭での孤食や夜更かしなど、生活習慣の乱れも気になっているところです。そのような中で、菌の健康やインフルエンザなどの感染症予防、生活習慣病の予防など学校での保健管理や指導の重要性は高まるばかりです。複数配置の推進や健康教育の充実など様々な課題はありますが、養護教諭の皆様には更なるご活躍を期待しないではられません。

今年は、東日本大震災という未曾有の災害がありました。被災された養護教諭の皆様にはお見舞いを申し上げますとともに、自ら被災されたにもかかわらず、被災地での子どもたちや教職員、さらに地域の支えとなって活動されていることに心より敬意を表し、感謝申し上げます。

3月の震災から半年を過ぎようとしておりますが、今後もしばらくは子どもたちには不安定な状況が続くかと存じます。また、被災地以外でも避難児童生徒のご対応をされている養護教諭の方々も多いかと存じます。

本会では、被災児童生徒への支援として、「被災した児童生徒と向き合うために」というリーフレットを被災地を中心に教職員の方々のお手元へ届くよう配布をしているところです。このリーフレットは、養護教諭の方々を中心として、教職員間での読み合わせなどで、子どものメンタルヘルスケアの再確認や共通認識の一助としていただけるよう作成いたしました。ぜひ、有効に活用いただければ幸いです。

本会では学校保健の発展・推進のために活動をすすめてまいります。皆様におかれましても、これまでも増したご支援とご協力をお願い申し上げます。



平成23年度 総会報告

日時 平成23年6月11日(土)

会場 日本青年館

会長挨拶

議長団選出

大村 道子 (北海道) 齋藤真由美 (栃木)

議事録署名員

記録

奥田 康子 (福井) 山根 由利 (島根)

森村 芳美 (奈良) 藤井 紀子 (福岡)

議事

- 1 平成22年度事業報告
- 2 平成22年度決算報告・会計監査報告
- 3 新役員承認、新旧役員挨拶
- 4 平成23年度基本方針

〈活動方針〉

- ① 研修活動の充実を図る
夏期研修会、研究協議会、学校保健連絡協議会を通して、養護教諭の職務や現代的健康課題の解決に向けた研修を行う。
 - ② 調査研究活動の活動の充実・発展に努める
健康教育の発展を目指した研究活動の充実を図るとともに、学校保健や養護教諭を取り巻く諸問題について調査研究を行う。
 - ③ 養護教諭に関わる法的問題の改善に向けた取組を継続する
養護教諭の資質向上のための法整備に向けて、要請要望活動を行う。
 - ④ 全国養護教諭連絡協議会の盤石化を図る
全国組織として、会の適正な運営に努めるとともに、関係機関との連携を図る。
 - ⑤ 広報活動の充実を図る
会報の発行やホームページの充実に努め、学校保健・養護教諭に関する事柄について周知理解を図る。
- 5 平成23年度事業計画
 - 6 平成23年度会計予算
 - 7 平成23年度各種委員、理事、監事の選出について

第13回 学校保健連絡協議会報告

日時 平成23年6月11日(土)

会場 日本青年館

講演

演題 「教員養成と養護教諭の資質向上について」

講師 独立行政法人 教員研修センター

理事 高岡 信也氏

内容について

中央教育審議会における教員の資質向上特別部会の議論から「教職生活全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上について」教員養成・教員免許制度改革のあり方についてのお話をいただきました。

教員の資質向上方策の抜本的な見直し」について

- 1 教員免許制度の抜本の見直しについて検討すること
 - 2 「教員養成期間の延長」を議論する際、「基礎資格（一種免許）を得させる教職課程では不十分な教育分野」を明確にすること
 - 3 現職教員研修のあり方について、教員の生涯職能成長の観点からその高度化、体系化を図る方策を検討することの3点に整理された。
- この3点を踏まえた上で
- 提案1 現行免許法の「必要単位数」を精査、資質・能力の形成に不可欠の教育領域を拡充する。
- 提案2 現職研修の体系化・組織化・高度化の実現「大学と行政の協働」「大学間連携の構築」を進めることと説明された。
- また、養護教諭は時代のニーズに適応してきた職種であり、任される分野も多岐にわたっていることが社会的な「しくみ」として認められることが必要であることを確認しました。



平成23・24年度全国養護教諭連絡協議会役員



会長	堀田 美枝子	埼玉県立浦和西高等学校
副会長	濁川 こず枝	群馬県桐生市立清流中学校
副会長	鈴木 ますみ	千葉県佐倉市立白井中学校
副会長	永田 智恵子	静岡県立賤機中学校
常務理事	長谷川 早苗	山形県上市市立北中学校
常務理事	菅 沼 八重子	長野県富士見町立富士見中学校
常務理事	加藤 美智子	愛知県愛西市立佐織中学校
常務理事	足立 人美	神戸市立唐櫃小学校
会計	田上 泉	茨城県石岡市立柿岡小学校
会計	上田 由佳里	名古屋市立東桜小学校